



図書館だより



今年も読書週間の季節がやってきました。
右の画像は読書週間のポスターとロゴマークです。
今年の標語は「この一行に逢いにきた」です。
逢いたくなる一行、あなたにはありますか？



図書委員のおすすめ本

図書委員会は北陵祭で「クイズ&おすすめ本紹介」を冊子にしました。
見てないなあ、という人もいるかと思しますので、何冊か抜粋してご紹介します。



ゴールデンスランバー/伊坂幸太郎著

首相暗殺の濡れ衣を着せられた男の、二日間にわたる逃亡劇を描いた作品です！！何が起こるか、無事に逃げることができるのか、疑いは晴れるのか、先がとにかく気になってページをめくる手がとまりません！次から次に回収されていく伏線も Good！

今夜、世界からこの恋が消えても/一条岬著

無気力に生きる高校生の神谷透は、人気者である事情をかかえた真織と本気で好きにならないことを条件に付き合うことになる。一日いちにちを大切にしたいと思える感動ストーリー！



四月になれば彼女は/川村元気著

佐藤健×長澤まさみ×森七菜で実写映画化！時と国を超えるスケールの大きいラブストーリー。愛とはいったい何なのか考えさせられた。



怪盗フラヌールの巡回/西尾維新著

仲の良い家族と何不自由なく暮らしてきた「あるき野道足」は、父が交通事故で亡くなったことをきっかけに父が怪盗であることを知る。自分たち兄妹が犯罪による利益で育てられたことにショックを受け、父が集めた盗品コレクションを返却するべく愛する乳母の協力のもと二代目怪盗フラヌールとなった。登場人物全員の個性が強い・クセが強いのがこの本の魅力です！



本好きの下剋上/香月美夜著


「本が好きなのに本がない！」
望み通り(?) 本に埋もれて死んだ主人公が転生したのは本が高価な世界。ただただ本がない世界の中で前世の記憶と持ち前の行動力で周りを巻き込みながら前進していくストーリーです。校内には1巻目しかないので、それ以降読みたい方は猛プッシュしてください！



あなたの一行に逢いにいこう！ 新刊案内



夏から秋にかけて、たくさんの新刊が入りました。一部ですがご紹介します。
貸出中の場合は予約もできます。用紙に記入するか、司書までお声がけください。

書名	著者名	出版社
本を読んだことがない 32歳がはじめて本を読む	かまど,みくのしん 著	大和書房
<p>『走れメロス』ってこんなに面白かったんだ！ 読書に苦手意識のある32歳と一緒に一行ずつ物語を噛みしめながら小説を味わってみましょう。 『変な家』が大ヒットした雨穴さんの新作書き下ろし小説も掲載されています。</p> <p style="text-align: right;">おすすめ!</p>		
チョコレートを食べたことがないカカオ農園の子どもに きみはチョコレートをあげるか？ 10代のうちに考えておきたいジェンダーの話 文系でも思わずハマる 数学沼	木下理仁 著 堀内かおる 著 鶴崎修功 著	旬報社 岩波書店 マガジンハウス
<p>東大発知識集団 QuizKnock のメンバー、鶴崎修功さんの本です。 ・横綱が69連勝する確率はどれくらい？ ・「メガ盛り」と「ギガ盛り」、大きいのはどっち？ 美しくて、楽しくて、深い「数学の世界」へようこそ！</p> <p style="text-align: right;"> メガ？ ギガ？</p>		
いちばんよくわかるクロスステッチの基礎と図案 500 フィンランドくらしのレッスン 地震イツモマニュアル 世界を彩る色と文化：めくって旅する新しいデザインの本 ずっと読みたい0才から100才の広告コピー あさいち	週末北欧部 chika 著 地震イツモプロジェクト 編 桜井輝子 著 WRITES PUBLISHING 編	日本ヴォーグ社 集英社 ポプラ社 SBクリエイティブ ライツ社
<p>石川県「輪島朝市」の活気ある風景を描いた、1980年刊行の絵本です。令和6年能登半島地震で大きな被害を受けた被災地の、一日も早い復興への願いを込めて復刊されました。石川県立図書館の入り口で展示が行われていたので、見たことがある方もいらっしゃるかもしれませんね。飛び交う方言に人のあたたかさを感じる作品です。</p>		
真夜中のマリオネット 薬屋のひとりごと 14巻 アリアドネの声 栞と嘘の季節 手紙 境界のメロディ	知念実希人 著 日向夏 著 井上真偽 著 米澤穂信 著 東野圭吾 著 宮田俊哉 著	集英社 イマジカインフォス 幻冬舎 集英社 文藝春秋 KADOKAWA
<p>Kis-My-Ft2の宮田俊哉さんが贈る、音楽×青春小説！！メジャーデビュー目前にして相方のカイを事故で亡くしたキョウスケは、音楽を辞めて無気力に生きていた。しかし事故から2年、突然カイが現れる。彼の説得によって再び音楽の世界に触れ、音を重ねる喜びを感じるが…。読みやすい文章なので、普段小説を読まない方もぜひ！</p>		

